

# 市民意見の聴取 【アンケートの実施・ワークショップの開催】

## ◆ 地方創生に関するアンケート調査の実施

1. 実施期間:平成27年5月30日～6月12日[14日間]
2. 対象人数

対 象	配付数(人)	回答数(人)	回答率(%)
函館市内在住の20歳以上の者	3,000	931	31.0
函館市への転入者(H27.3～4)	500	173	34.6
函館市からの転出者(H27.3～4)	500	157	31.4
函館市内の高校生・大学生等	1,529	1,118	73.1
計	5,529	2,379	43.0

### 3. 調査項目

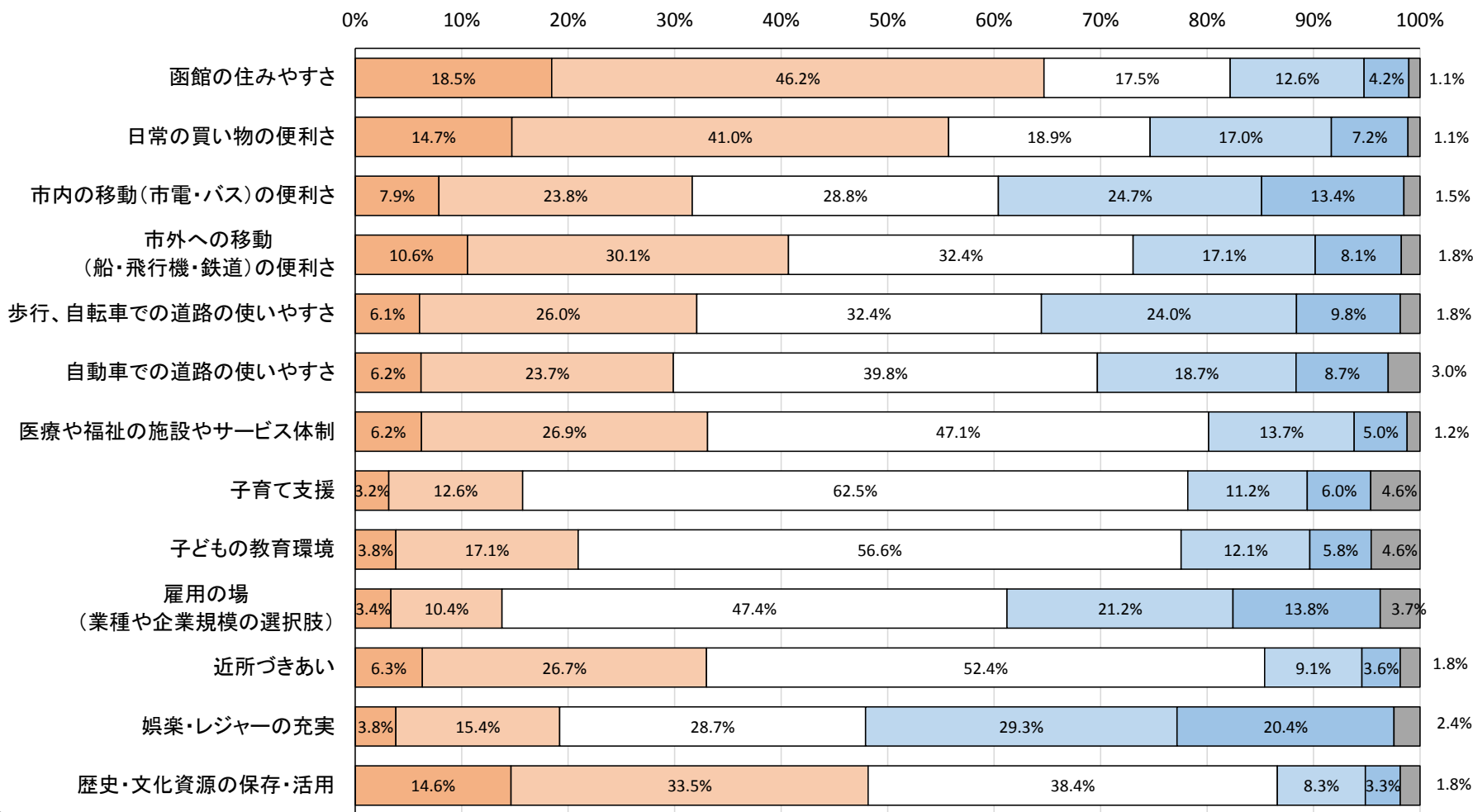
区 分	共通項目	その他の項目
函館市内在住の20歳以上の者	<ul style="list-style-type: none"> <li>属性に関する質問</li> <li>函館のまちへの満足度に関する質問</li> <li>函館市の魅力に関する質問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>函館市の今後のまちづくりに関する質問</li> <li>結婚・出産・子育てに関する質問</li> </ul>
函館市への転入者(H27.3～4)		<ul style="list-style-type: none"> <li>函館市の今後のまちづくりに関する質問</li> <li>転入に関する質問</li> </ul>
函館市からの転出者(H27.3～4)		<ul style="list-style-type: none"> <li>転出に関する質問</li> </ul>
函館市内の高校生・大学生等		<ul style="list-style-type: none"> <li>函館市の今後のまちづくりに関する質問</li> <li>結婚・出産・子育てに関する質問</li> <li>卒業後の進路に関する質問</li> </ul>

# 《アンケート結果》

## 問:「函館のまち」に対する満足度

(各項目を満足, まあ満足, どちらともいえない, やや不満, 不満から選択)

- 満足度が高い順は「函館の住みやすさ」, 「日常の買い物の便利さ」, 「歴史・文化資源の保存・活用」
- 満足度が低い順は「娯楽・レジャーの充実」, 「市内の移動」, 「雇用の場」



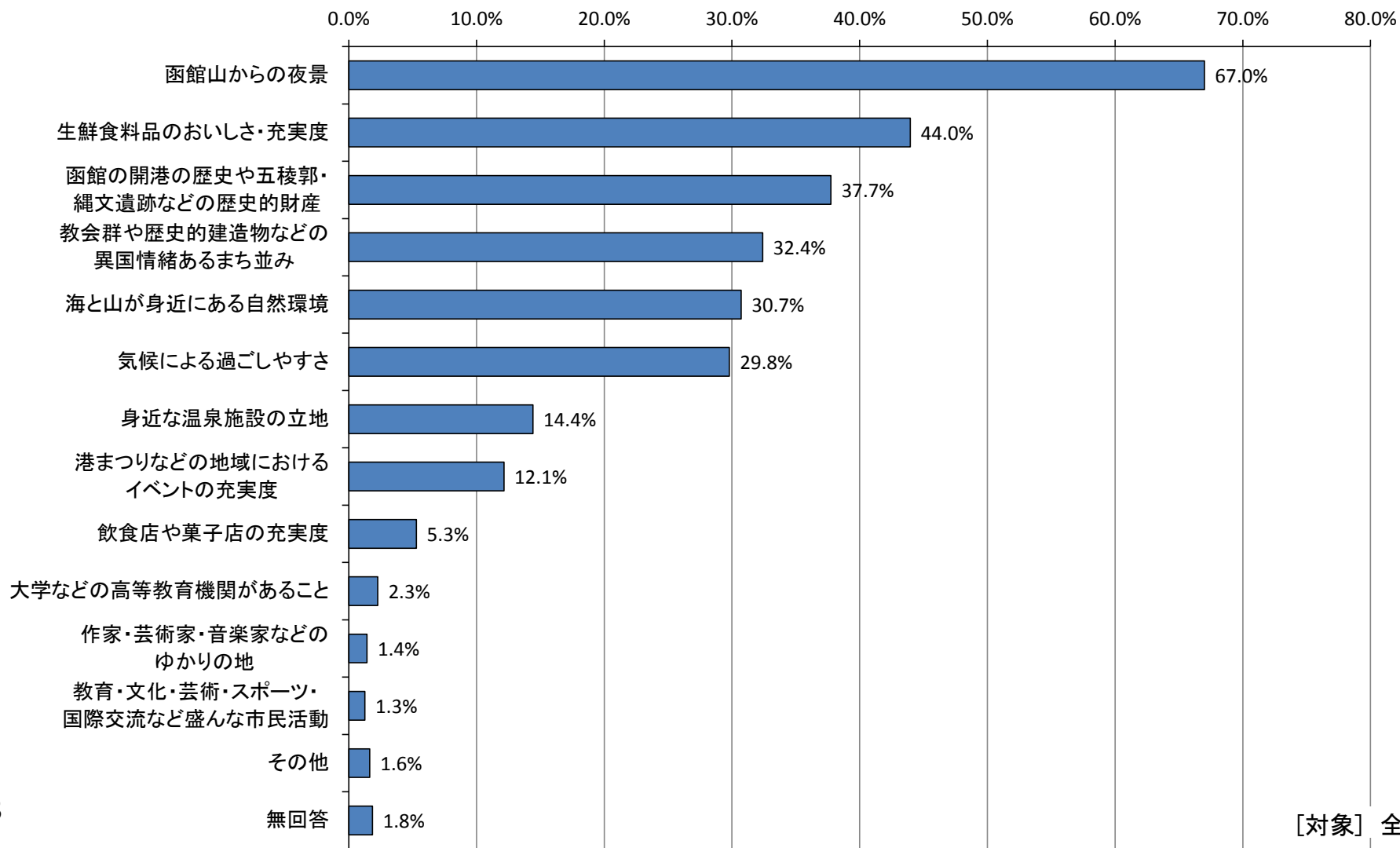
■満足 ■まあ満足 □どちらともいえない ■やや不満 ■不満 ■無回答

[対象] 全て

## 問:函館市の魅力や誇れると思うもの

(項目から3つを選択)

- 魅力や誇りに思うと選択した割合が多い順は、「函館山からの夜景」、「生鮮食料品のおいしさ・充実度」、「函館の開港の歴史や五稜郭・縄文遺跡などの歴史的財産」
- 選択した割合が少ない順は、「教育・文化・芸術・スポーツ・国際交流など盛んな市民活動」、「作家・芸術家・音楽家などのゆかりの地」、「大学など高等教育機関があること」

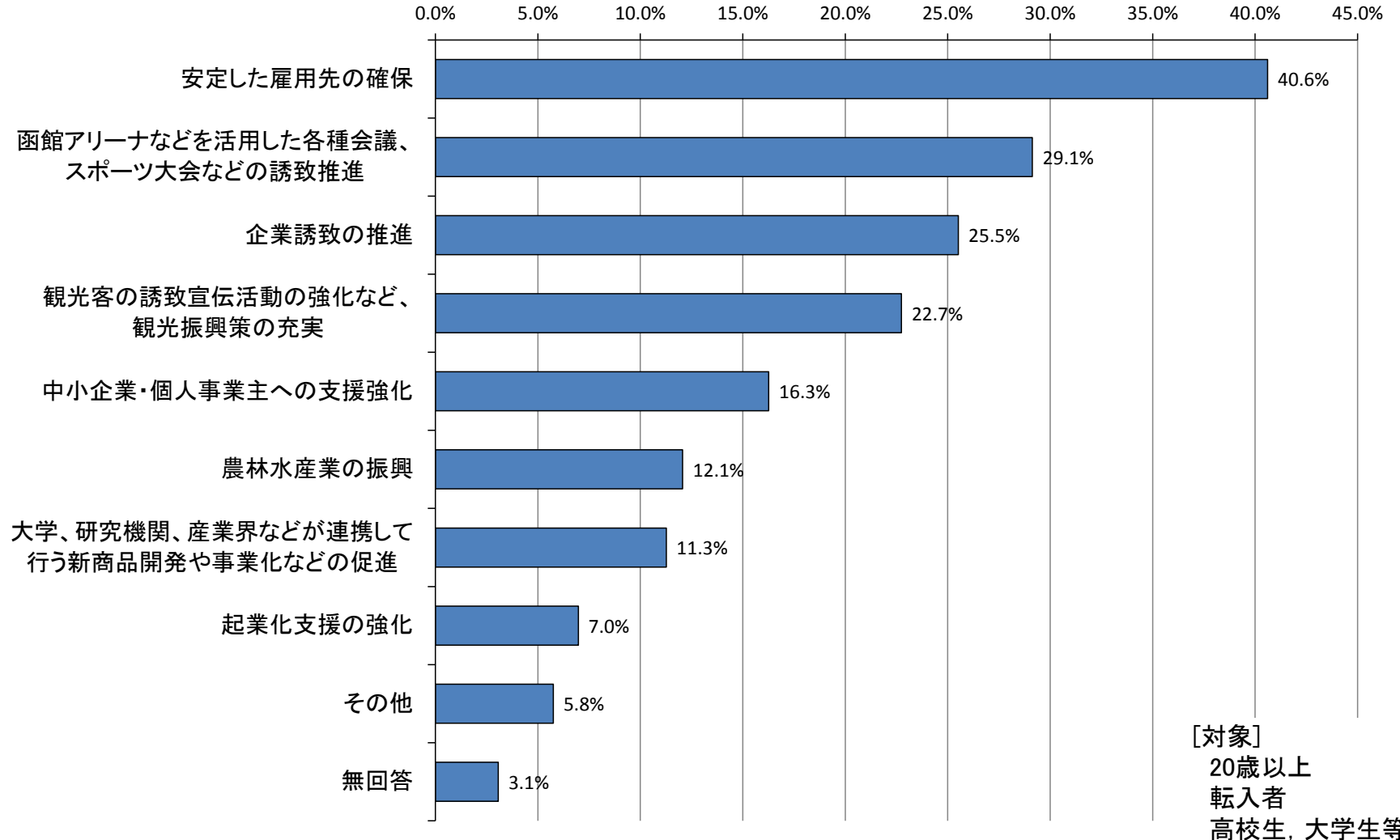


[対象] 全て

## 問：経済を活性化するための取組

(項目から2つを選択)

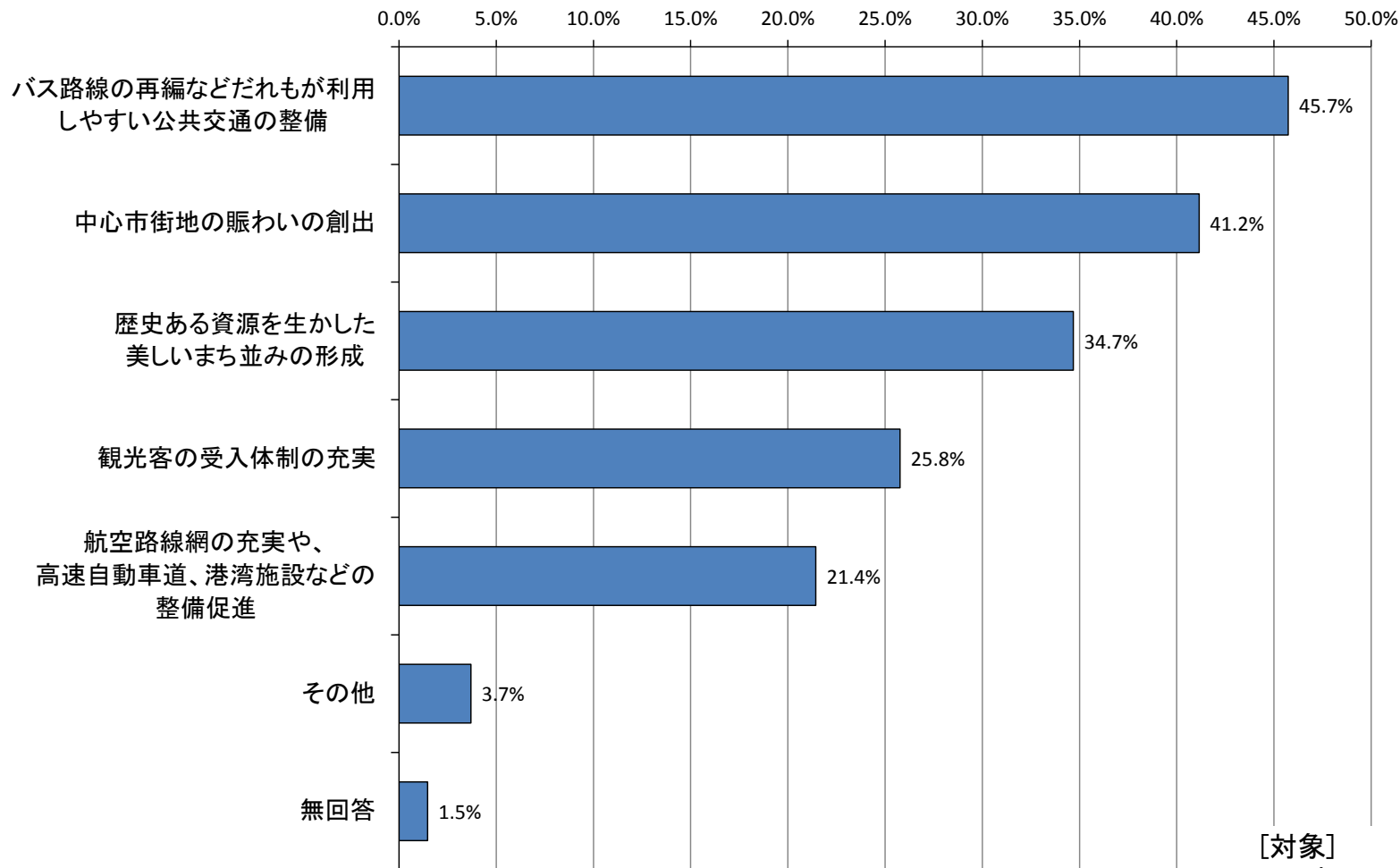
- 取り組んでいくべきと選択した割合が多い順は、「安定した雇用先の確保」、「函館アリーナなどを活用した各種会議、スポーツ大会などの誘致推進」、「企業誘致の推進」
- 選択した割合が少ない順は、「起業化支援の強化」、「大学、研究機関、産業界などが連携して行う新商品開発や事業化などの促進」、「農林水産業の振興」



## 問:まちの魅力を高めるための取組

(項目から2つを選択)

➤ 取り組んでいくべきと選択した割合が多い順は、「バス路線の再編などだれもが利用しやすい公共交通の整備」、「中心市街地の賑わいの創出」、「歴史ある資源を生かした美しいまち並みの形成」

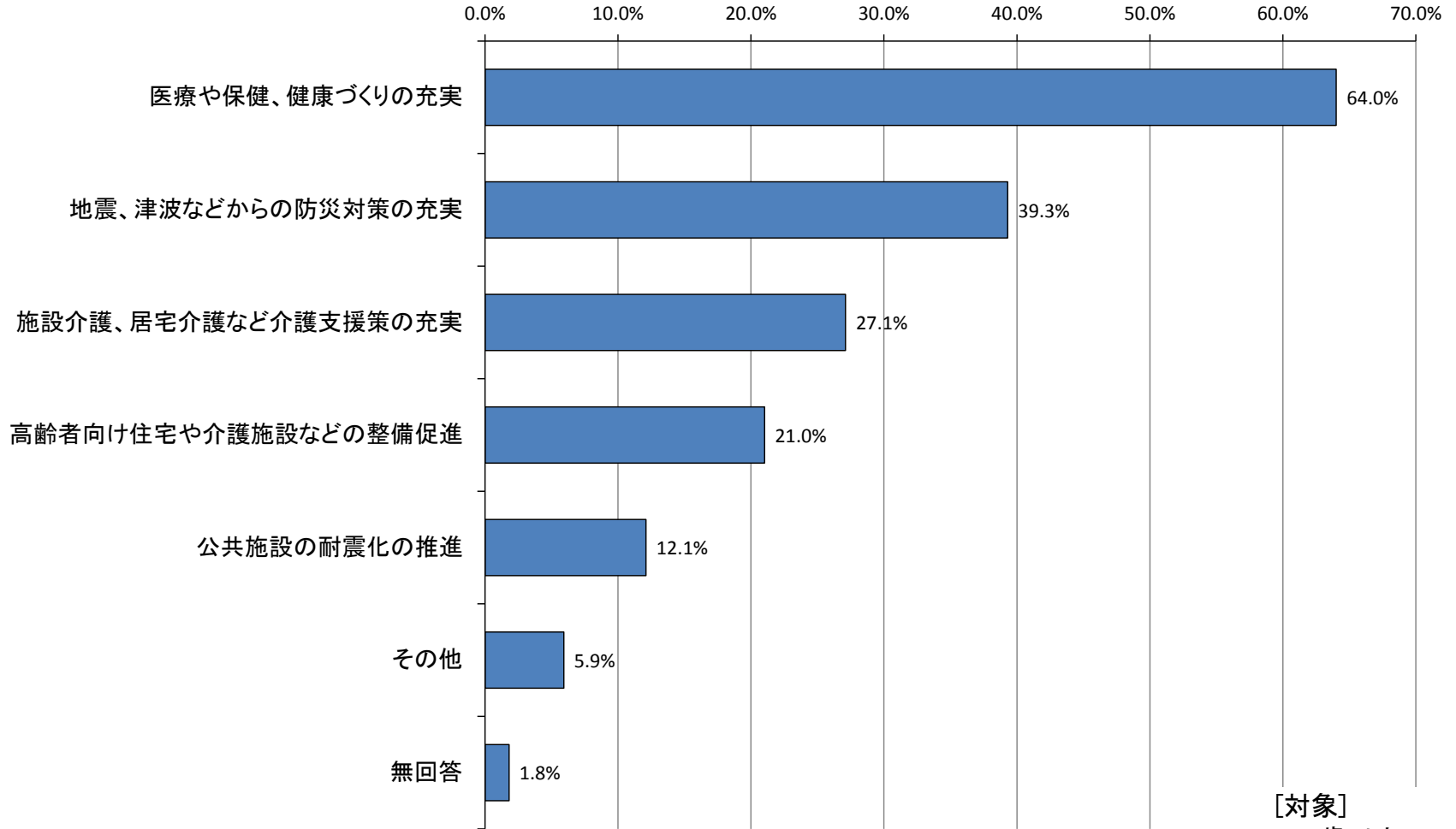


[対象]  
20歳以上  
転入者  
高校生, 大学生等

## 問:安心して住めるまちづくりを進めるための取組

(項目から2つを選択)

- 取り組んでいくべきと選択した割合が多い順は、「医療や保健,健康づくりの充実」,「地震,津波などからの防災対策の充実」,「施設介護,居宅介護など介護支援策の充実」

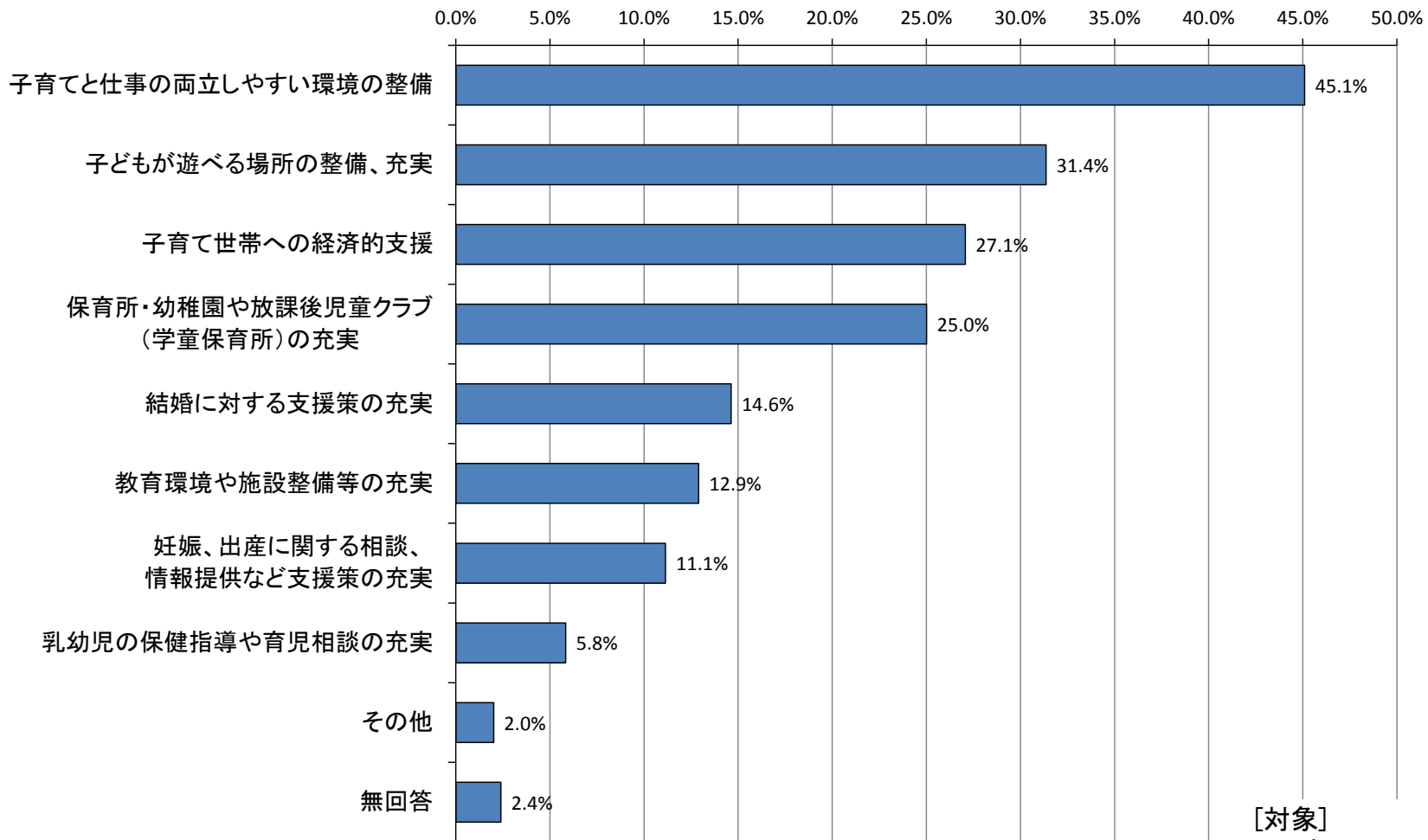


[対象]  
20歳以上  
転入者  
高校生,大学生等

問:安心して子どもを産み,  
子育てできる環境整備のための取組

(項目から2つを選択)

- 取り組んでいくべきと選択した割合が多い順は、「子育てと仕事の両立しやすい環境の整備」、「子どもが遊べる場所の整備、充実」、「子育て世帯への経済的支援」

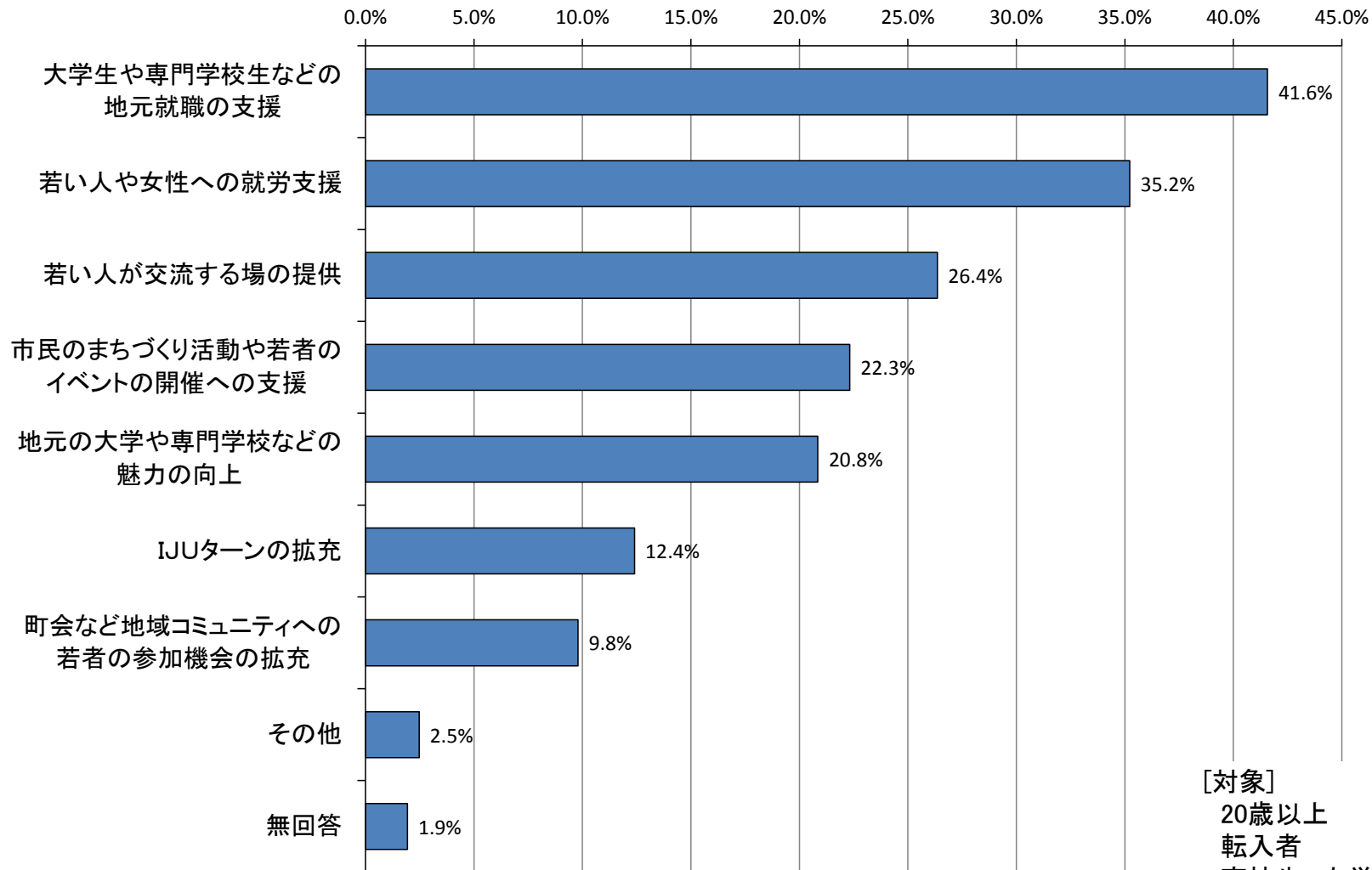


[対象]  
20歳以上  
転入者  
高校生, 大学生等

## 問:若い人たちがいきいきと活躍できる環境を実現するための取組

(項目から2つを選択)

- 取り組んでいくべきと選択した割合が多い順は、「大学生や専門学校生などの地元就職の支援」、「若い人や女性への就労支援」、「若い人が交流する場の提供」



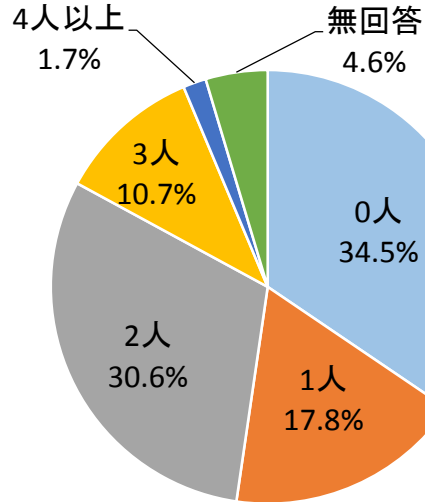
[対象]  
20歳以上  
転入者  
高校生、大学生等



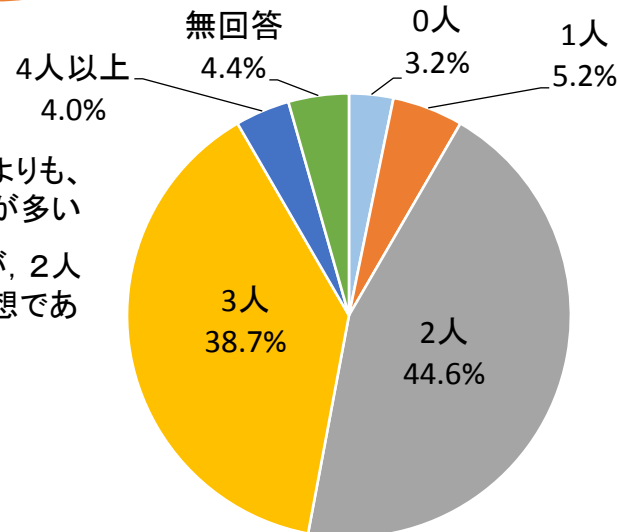
## 問:現在の子ども数と理想の子ども数

(項目から1つを選択)

### <現在の子ども数>



### <理想の子ども数>

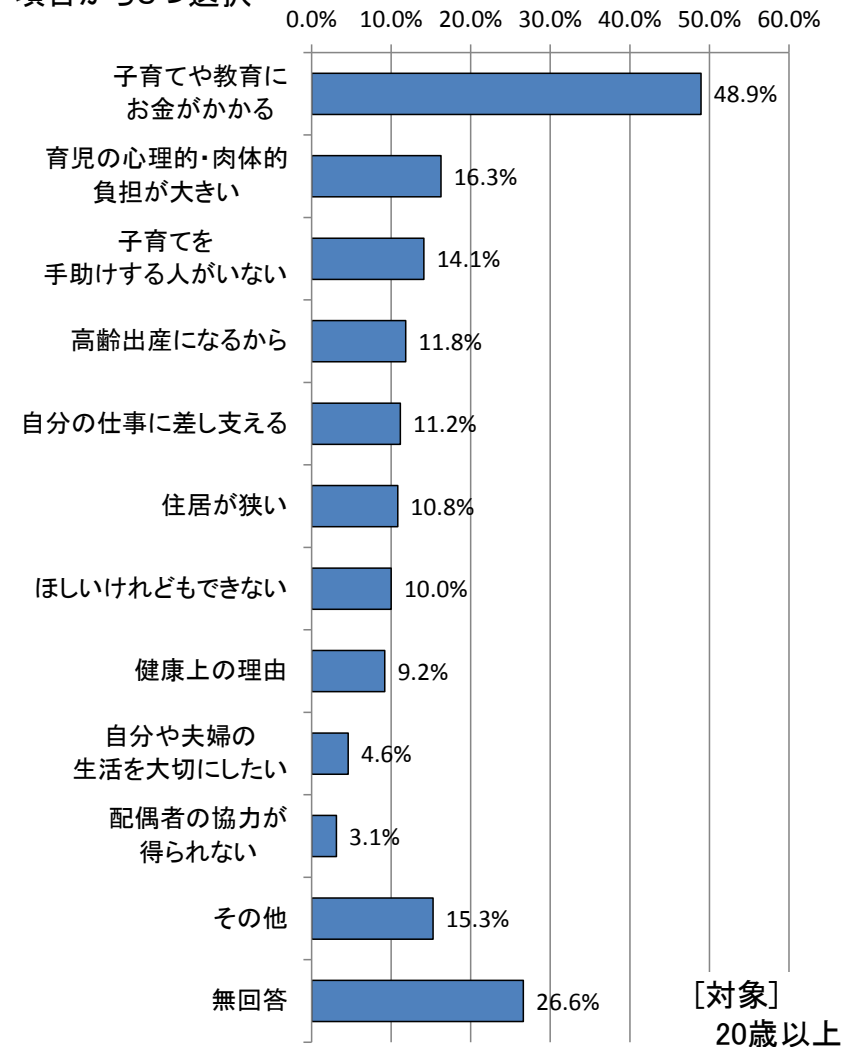


理想と現実  
の乖離

- 現在の子ども数よりも、理想の子ども数が多い
- 8割を超える市民が、2人以上の子どもが理想であると回答

## <理想の子ども数の実現していない理由>

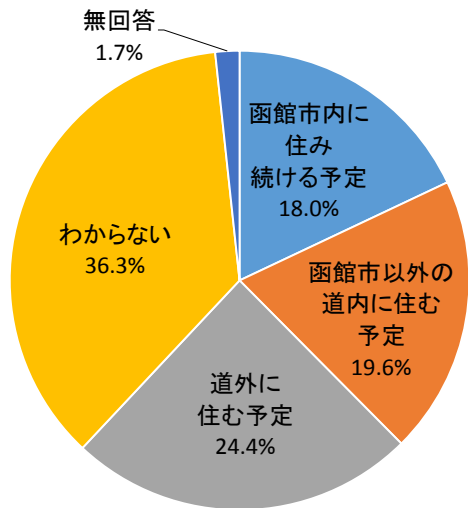
項目から3つ選択



- 理想の子ども数の実現していない理由として、選択された割合が多い順は、「子育てや教育にお金がかかる」、「育児の心理的・肉体的負担が大きい」、「子育てを手助けする人がいない」

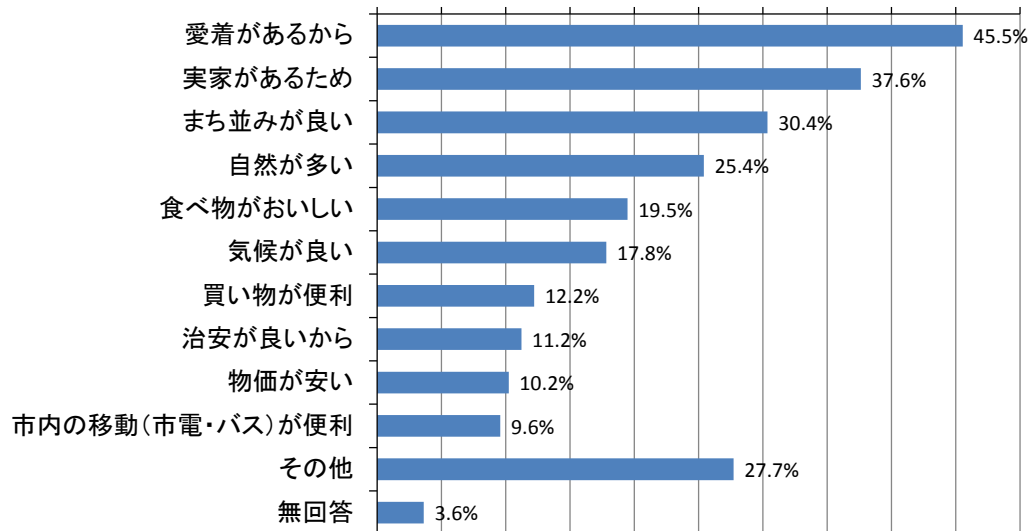
## 問:卒業後の居住予定地

(項目から1つを選択)



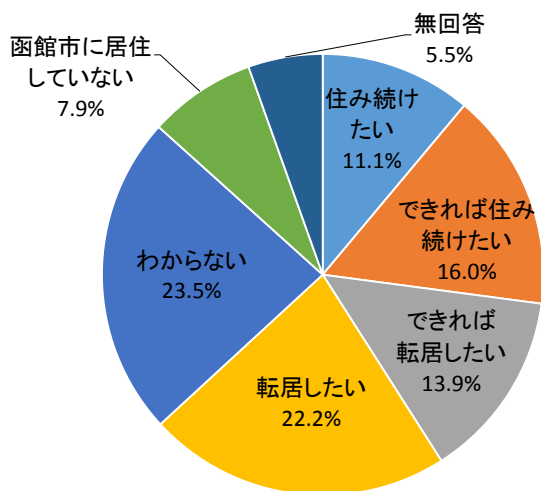
## 問:「住み続けたい」・「できれば住み続けたい」理由 (項目から1つを選択)

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0% 30.0% 35.0% 40.0% 45.0% 50.0%



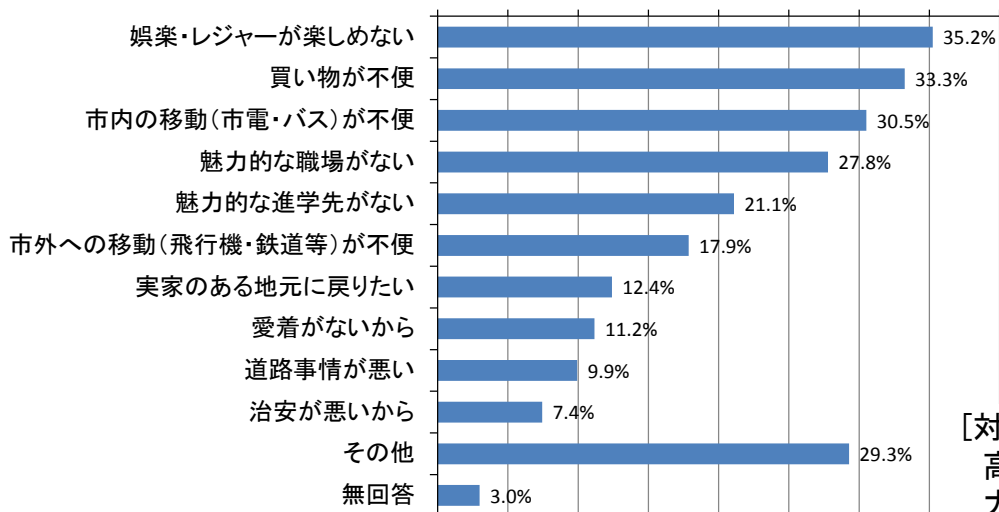
## 問:卒業後の函館市への居留意向

(項目から1つを選択)



## 問:「できれば転居したい」,「転居したい」理由 (項目から1つを選択)

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0% 30.0% 35.0% 40.0%



[対象]  
高校生・  
大学生等

## ◆ はこだてトークカフェの実施(まちづくりワークショップ)

1. 実施期間:平成28年3月6日～4月2日[計4回]
2. 参加日時・会場・人数

	亀田福祉センター	地域交流 まちづくりセンター	恵山コミュニティ センター	函館アリーナ
実施日時	3月6日(日) 午後2時～	3月12日(土) 午後2時～	3月30日(水) 午後1時30分～	4月2日(土) 午後2時～
参加人数 (延べ92人)	24人	21人	20人	27人

### 3. はこだてトークカフェの内容

- 方法  
テーマ毎に自由に語り合い、その都度席を移動し、最後に意見を共有
- テーマ  
(1) 函館の特徴(良いところ、悪いところ)  
(2) 理想の函館の未来像  
(3) 将来の函館のために私たちができること
- 意見の共有  
(2)と(3)のテーマで一番印象に残った意見を全員で出し合い、意見を共有

みんなで話そう、  
函館の今・未来。

はこだて  
トークカフェ  
開店

未来の函館が、どんなまちに  
なっていたらいいと思いますか？  
市民の皆さんの自由なご意見を聴  
かせてください。  
「トークカフェ」は、カフェで仲間  
と語り合うような気軽な雰囲気のみ  
な、函館の今と未来について一緒に  
考え・話そうというもので、どなた  
でも参加できます。いただいたご  
意見は、平成29年度から始まる  
新しい「函館市基本構想」の  
策定に活用させていただきます。

2016  
3/6 ① 14:00～16:30  
亀田福祉センター 2階会議室  
休室1丁目28-12

3/12 ② 14:00～16:30  
地域交流まちづくりセンター 2階多目的ホール  
天立町4-19

3/30 ③ 13:30～16:00  
恵山コミュニティセンター 研修室  
日ノ浜町154

4/2 ④ 14:00～16:30  
函館アリーナ 多目的会議室  
函館1丁目15-2

・各会場定員  
20名程度  
・参加無料  
・要事前申込み  
※申し込み、詳細は  
お電話ください。

【お問い合わせ先】  
函館市企画部新計画策定担当  
☎ 21-3821

# 《はこだてトークカフェで出された意見》 [理想の函館の将来像]

## 観光・魅力・レジャーに関すること

観光場所が多いまち

多くの人に来てくれるまち

おもてなしができるまち

遊び場がたくさんあるまち

夜景日本一のまち

観光の推進で促す  
市民主導のまちづくり

誇りに思えるまち

生活の中に  
歴史が生きているまち

## コミュニティ・高齢者・健康づくりに関すること

助け合い、支え合えるまち

多くの(多様な)  
人的資源があるまち

高齢者も仕事ができるまち

スポーツが盛んで  
健康寿命が長いまち

コミュニティがつながるまち

世代交流ができるまち

高齢者が  
いきいきしているまち

みんなでうごくまち

## 子ども・若者・雇用に関すること

子どもを預けて働けるまち

子どもがのびのび遊ぶまち

子どもと親が楽しいまち

学べる場が充実しているまち

安心して子どもを  
産み育てられるまち

子育てしやすい  
子どもが多いまち

若者が活躍できるまち

若者が戻ってきたいまち

若者から発信するまち

働きやすいまち

働く場所を選べる,  
多様な働き方ができるまち

若い人が沢山集まっていて  
活気のある町

外への発信・内への発信  
情報の共有

函館の強みをつくる

お互いを認め合うまち

人材育成・ひとづくり(政策)  
のまちづくり

行政に頼らない市民主体  
観光に頼らずいきるまち

中心部だけではなく  
地域も元気に

住み続けたい  
住み続けられるまち

車が無くても、気軽に  
函館を自由に移動できるまち

綺麗で住みやすいまち

あちこち行きやすいまち

住んでる人にも観光客にも  
優しいまち

住民主体の住みよいまち  
地域住民の目線が大事

## まちづくりに関すること

## 暮らしやすさに関すること

公共交通網の整備で  
交流しやすいまち

寂しいまちから  
あずましいまちに

## 《はこだてトークカフェで出された意見》 [私たちにできること]

### ➤ 観光・イベント・情報発信

四季を通して魅力あるまち

多くの人に来てくれるまち

観光客に声をかける

地域のイベントに参加する

まちの魅力を学び語る

観光都市函館を市民が考える  
行政任せにしない  
問題から目を背けない

観光客を市民みんなで  
おもてなし(観光ガイド化)

函館のことを発信する

### ➤ コミュニティ・ボランティア・健康づくりに関すること

地域や人と積極的に関わる

Uターン者を温かく迎え応援

日常のさりげないボランティア  
(観光客への声かけなど)

異なる世代の要求を  
理解する

地域のボランティア活動に  
積極的に参加する

行政に頼らず活動する

子どもの居場所をつくる

若い人たちが集まるような  
場をつくる

地域の良さをアピールする

健康都市で函館を売り込む

人との結びつきを強くする

地域活性化につながる  
組織に参加する

超高社会に対応する  
健康づくりの施設

他人のやっていることに  
ちょっと興味を持つ

「函館でこんな生き方も  
できるんだ」と思えるような  
生き方をする

函館のものを買って、食べる

### ➤ 子ども・若者に関すること

他人の子どもを叱れるまち

地元に関わる教育をする

子どもたちに  
過去の歴史を伝授する

大学の後輩を  
地域に押し出す(紹介する)

子育て(結婚)しやすい  
支援を

函館に住み続けること

花を植え、ゴミを拾い  
まちを綺麗にする

公共交通を利用する

運転マナーに気をつける

居心地のいいまちと人

若い人が西部地区に住む

### ➤ まちづくりに関すること

函館について考え語り合う

函館を学び 広める

函館検定を受ける

話し合いの場をつくる

新しい施設を作らず  
今ある施設を有効活用

市政を注視し  
選挙で意見を出す

地元企業と他地域との協力  
による地場産業の活性化

函館ブランドを活かした  
商品開発

### ➤ 暮らしに関すること